学校番号	４１５

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	文系国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	国語必携パーフェクト演習　改訂版(尚文出版) 基礎現代文〈大学入学共通テスト対策　新装二版〉（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・さまざまな文章や会話を通して、言語活動を充実させていきましょう。
・問題集や提出物、小テストなどその時々に学力の定着を確認していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な語句を習得し、国語常識を身に着けるとともに、評論などの読解を行う。

【思考力、判断力、表現力等】
基本的な言語能力を高め、文章の読解力や表現力を磨く。

【学びに向かう力、人間性等】
国語の感覚を高め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「読むこと」「書くこと」において、論理的に考える力や豊かに表現したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・国語常識 ・読解 ［教材］ 同音異義語・同訓異義語・難読語・故事成語・四字熟語、文学史、原稿用紙の使い方 文章番号1～12	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]：「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 c：学習課題に沿って、本文中の語句の定義を押さえ、粘り強く筆者の主張を読み取ろうとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
2学期	・国語常識 ・読解 ・文章を要約する ［教材］ 敬語・難読語・四字熟語・ことわざ・慣用句・文学史 文章番号13～24	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]：「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 c：学習課題に沿って、論理の展開に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート
3学期	・国語常識 ・読解 ・意見文を書く ［教材］ 四字熟語、手紙の書き方 文章番号25～30	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[　読　]：「読むこと」において、関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 c：学習課題に沿って、文章全体の構成に注目しつつ、粘り強く筆者の主張をとらえようとしている。	定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１５　）時間

・読むこと　…　（　５５　）時間